

当院における免疫抑制者を中心とした連鎖球菌菌血症の疫学的解析

1. 研究の対象

2008年4月～2024年2月に当院で血液培養検査で連鎖球菌属が検出された患者。

2. 研究目的・方法

連鎖球菌属による菌血症は感染性心内膜炎や皮膚軟部組織感染症の患者さんで見られる他、免疫抑制状態の患者さんでは時に致死的な病態となることや、薬剤感受性が通常の免疫状態の方と異なる事が示唆されておりますが、まだデータとしては多くありません。そこで当院で連鎖球菌属による菌血症の患者さんで実際にどのような免疫不全でどのような薬剤感受性の菌が検出されるのか、またそれらが患者さんの予後にどのように影響するかを検討します。

研究実施期間は倫理委員会承認日～2027年3月31日までです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

電子カルテ上の情報：病歴、治療歴、既往歴、カルテ番号 等

4. 外部への試料・情報の提供

外部への情報の提供は予定しておりません

5. 研究組織

高知大学医学部附属病院

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮

TEL : 088-866-5811

研究責任者

高知大学医学部 臨床感染症学講座

助教 荒川 悠